

## 診療情報および検体（試料）を利用した臨床研究について

虎の門病院病理診断科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録や検体（試料）をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報・検体（試料）を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

調査対象となる期間：2014年1月1日～2023年7月31日の間に、下垂体の頭蓋咽頭腫あるいはその疑いのために虎の門病院間脳・下垂体外科に入院・通院し、手術を受けられた方

### 【研究課題名】

Rathke 嚢胞と乳頭型頭蓋咽頭腫の中間的性質を示すトルコ鞍部病変の臨床病理学的検討

### 【研究の目的・背景】

#### 《目的》

頭蓋咽頭腫にはいくつかの種類が報告されています。その中で、細胞に線毛が見られるものに関して、病理学的特徴や再発率等の違いなどを検討します。

#### 《研究に至る背景》

頭蓋咽頭腫の内、細胞に線毛が見られるものは、見られないものと比較して、再発率等、特徴が異なっている可能性があります。数が少なく、研究が進んでいません。

### 【研究期間】

2023年12月25日～2024年5月31日

### 【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院において研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

### 【利用する診療情報・検体（試料）】

診療情報：年齢、性別、治療、再発の有無、再発までの期間等

検体（試料）：病理組織

【研究代表者】

該当なし

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：虎の門病院 病理診断科 高澤 豊

研究機関の長：院長 門脇 孝

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報・検体（試料）の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報・検体（試料）が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2024年4月30日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 病理診断科 工藤 仁孝

電話 03-3588-1111(代表)